

令和6年度 第1回 運営推進会議開催状況報告書

事業所名	梨雲苑デイサービスセンター			
開催日時	令和6年9月24日（火）13時30分～14時30分			
開催場所	特別養護老人ホーム 梨雲苑 研修室（富山市吉作1725番地）			
参加者	地域住民代表者	2名	知見者、民生委員等	1名
	利用者（家族）代表者	1名	事業所職員	4名
	行政職員	0名	その他（地域包括）	2名
議題	1. 事業所の現状について			
	2. その他			
会 議 録				
<第1号議案> 事業所の現状				
<p>・今年1月の浴室完成に伴って、利用者数も増えてきている。男湯と女湯を分けたことで利用者様にはゆっくりと入浴していただくことができ大変喜ばれている。</p> <p>・行事関係では、ボランティアの方にたくさんお越しいただいた。内容としては、定期で月曜日と金曜日に整容（ドライヤー）のボランティアの方に加えて、6月から木曜日に来ていただける方が増えた。傾聴ボラとして4月から利用者様のご家族が土曜日を中心に午後から来ていただいている。アトラクションとしては、6月には地域の三ツ塚のコーラスグループ様が20名、7月には地域の吉作のコーラスグループ様が20名来苑された。また、地域外からも、アコーディオン2名、民舞踊5名、おわら踊り4名の方が来苑され、本当に多くの方にお越しいただいた。</p> <p>・コロナの状況に関しては8月の終わり頃からデイサービス内において、コロナの感染者数が増加し、利用者様が18名、職員が3名の感染があった。現在は落ち着きを取り戻しつつある。</p>				
ご意見やご質問				
<p>・資料にある新規利用者数のグラフの見方を教えてほしい。</p> <p>→棒グラフは月の新規利用者数、折れ線グラフは月の利用登録者数です。</p> <p>・夏祭りなど、地域の小中学生がイベントに参加することで将来につながってくると思われるので意味がある。私は防犯組合にも入っていて、防犯のチラシを中学生の生徒と配った。内容は違うがこのような活動を継続する必要がある。</p> <p>・長寿会から何れ世話になる大事な施設だと認識している。その前に長寿会自体もう少し元気であってほしい。呉羽地区に10の長寿会団体があるが、以前は17～18団体あった。</p>				

今は70～75歳でも仕事をされている方も多く、「私はまだ元気だから入りたくない」と言って入らない方が多い。それでもある年齢が来るとガクッとレベルが落ち長寿会どころではない。活動などどうしたものか苦慮している。
・デイを使うと長寿会に参加されない方が多い。両方できるように包括でも考える必要がある。また、デイを勧めると歌を歌わされると昔のデイのように言われることがある。昔と違うことをアピールする必要がある。
・利用されている方の年齢の変化の割合はどうか。
→次回まで調べておきます。感覚では90代の方や100歳を迎えられる方が昔に比べて増えたような気がします。
・昨年は法人として防災訓練を行われたが、今年はしますか。先日、自治振興会の防災訓練がありました。要支援者の避難訓練も必要だと考える。
→11月に防災に係わるイベントを検討中。
自治振興会の防災訓練を見学させていただき、地域の小中学校へ避難するよう意識付けすることが大切と感じた。
・法人で訓練はしていますか。
→定期的に火災訓練をしている。今後は水害に対する訓練も必要と感じる。
・地区の防災訓練の内容は、小学校の貯水槽の見学確認、空き教室を使用した備蓄庫の見学、段ボールベッドの組み立て体験を行った。また、経路において危険個所の確認も行った。今回は参加者を5名と限定した。要支援、車椅子の方の誘導、危険個所の確認など年に1～2回積み上げていく必要がある。机上と実際は違う。何回も行い身につける必要がある。
・大雨警報レベルが上がっても中々逃げてもらえない。どうしたらいいか、と考えるが、早期把握に努め声掛けしていくしかないと思う。
・資料のボランティア来苑の写真において、皆さん楽しそうにしておられる。
・防災の話聞き、移動手段がない方に対して包括支援センターとしてどうしたらいいか改めて考える機会となった。
<第2号議案>その他
・普段から利用者様が取り組んでいる職員の説明のもとIpadを体験していただく。2人1組となり、3台のタブレットを使用する。
ご意見やご質問
・つついのめり込んでしまう。
・自分のスマートフォンでもしてみたい。

・初めて触った。画面が大きくて見やすい。

皆様、盛り上がって体験しておられました。